



洛和会
音羽病院

子どもたちに命を救う方法を 山科区の中学高等学校で PUSH プロジェクトを実施

リアルな救命学習で子どもたちの勇気を「PUSH」!

前触れもなく心臓が止まる突然死。日本では毎年約7万人が命を落としています。洛和会音羽病院(京都市山科区)では「PUSH プロジェクト[※]」に賛同し、心肺蘇生の中で最も重要な胸骨圧迫(心臓マッサージ)と AED(自動体外式除細動器)の使い方を地域に広く周知し、救命率を上げるため、地域の教育機関へ出張研修を行っています。今回は一燈園中学校・高等学校の学生たちに当院の救命士が「救える命を救う方法」を講習します。

※PUSH プロジェクト…NPO 法人大阪ライフサポート協会から発足した、胸骨圧迫・AEDの普及を通じて、突然倒れた人を救命できる地域を目指す取り組み。全国的に広まっている。

内容

① 胸骨圧迫

押すと音がなる模型器で、正しい圧迫を学ぶ

② AED 使用方法

練習器で装着位置まで確認

③ 救命活動シミュレーション

人が倒れてから胸骨圧迫・AEDを開始するまでの一連の流れを実演



※写真は他校で実施した様子

【実施概要】

実施日：2022年12月19日(月) 14:00～15:00

場 所：学校法人燈影学園 一燈園中学校・高等学校(京都市山科区四ノ宮柳山町29)

参 加：救命士2名、中学3年生10名、高校1年生4名

【洛和会ヘルスケアシステム】

代表者：理事長 矢野裕典

所在地：京都市山科区音羽八ノ坪51-4

設立：1950(昭和25)年

URL：http://www.rakuwa.or.jp/

主な事業：医療、介護、健康、保育、教育、研究

【本件に関するお問い合わせ先】

洛和会ヘルスケアシステム

企画広報 アローフィールド

担 当：岩井

T E L：075-594-8488

F A X：075-501-4583

e-mail：kouhou@rakuwa.or.jp